

令和5年2月10日

# マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会 TEL:097-545-6594  
FAX:097-554-4049

第143号

## 令和4年10・11・12月分交付金精算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和4年10・11・12月分の交付金精算払単価が公表されましたので、精算払いを行います。

また、12月分の公表された交付金単価は、肉専用種16,721.1円、乳用種49,166.1円の交付となります。

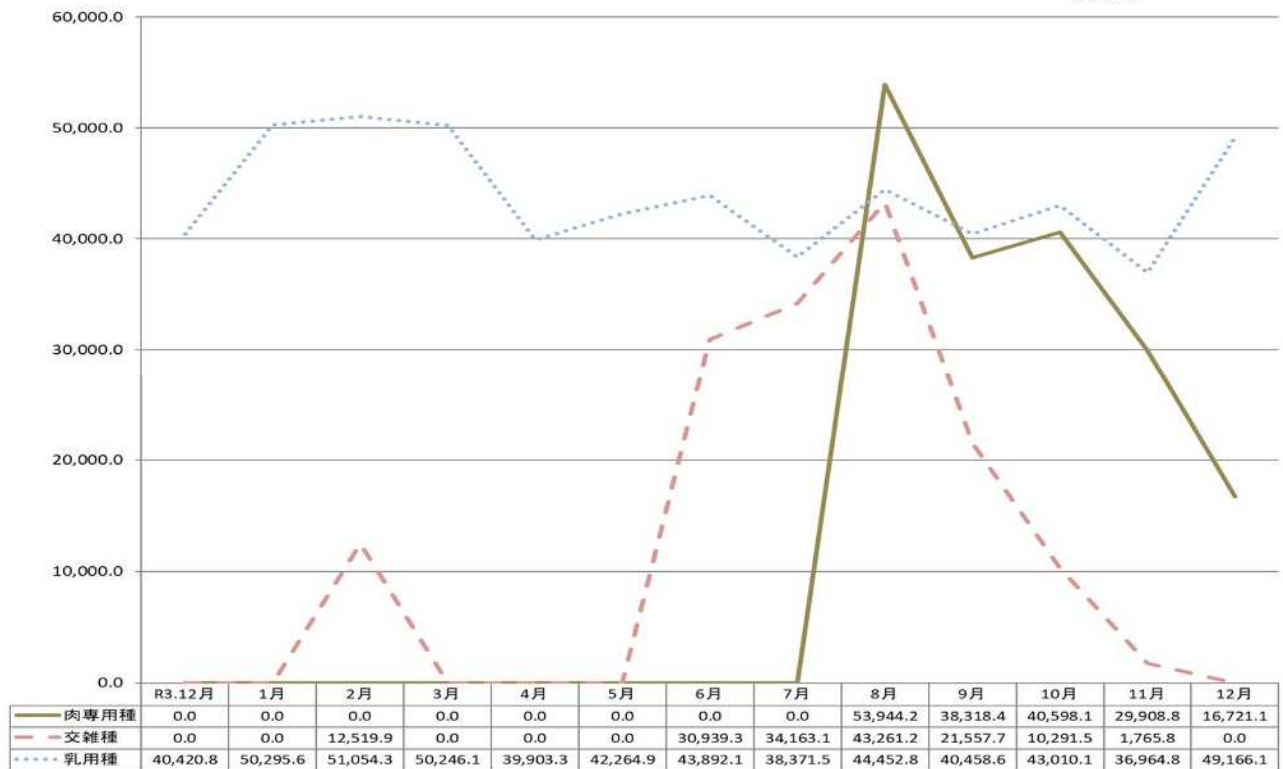
詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和4年10・11・12月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

### トピックス

- 令和4年10・11・12月分の単価(精算払)が公表されました。
- 10・11・12月分の交付金交付は、2月24日(金)を予定しております。

交付金交付状況

単位:円



## 牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oita.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 [https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin\\_00002.html](https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html)

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

## ★畜産物の市況展望【牛肉】

1月の牛枝肉価格は、正月休み明けの補充手当てで前半こそもちあい圏内を維持したが、成人の日の3連休明けは年末年始の出費増の反動で節約ムードが一気に強まり下げ傾向で推移した。

12月の牛枝肉価格は、和牛は去勢A5が前月比57円高の2,732円（前年同月比134円安）、同A4は22円高の2,417円（同184円安）、同A3は98円安の2,076円（同299円安）、A2は294円安の1,646円（同395円安）。交雑牛はB4が165円高の1,894円（同168円高）、B3は89円高の1,607円（同26円高）、同B2は48円安の1,289円（同59円安）。

行動制限のない22年の年末年始は旅行業界、飲食店ともに活況を取り戻した。規模や経営状況により様にはいかないものの「全国旅行支援制度などの後押しもあってコロナ前まで回復した」というホテル関係者の声も。ただ、新規感染者数が増加し、年末からはインフルエンザの感染者も増えており地方需要は完全復活とはいえない。

ホテルは昨秋から宴会需要でヒレのひっ迫感が強まり、交雑牛のロース、ヒレの確保に走る動きが散見され、量販店だけでなく外食からも交雑牛に手当てが集中し相場を押し上げた。しかし、蓋を開けてみれば在庫を抱えてしまった問屋も少なくない。年明けに凍結回しの動きもあり、春先まで荷重な状況が続く可能性も出てきた。

量販店ではXmas商戦こそ暦に恵まれ、売上を伸ばしたが、年末の際を除けば、牛肉は苦戦している。嗜好性の高い和牛はふるさと納税の返礼品を利用して調達するケースが増えている。国内消費の弱さをインバウンドや輸出でカバーしたいところだが、中国の水際対策強化で春節は期待できないとの見方。光熱費や食費、ガソリン代などの値上げラッシュが家計を圧迫し内食需要は厳しい。

和牛去勢A5で2,500円、A4で2,250円、交雑種は去勢B4で1,650～1,700円、B3で1,500円。

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌2月号 抜粋）